

健診を受けて今年も健康で元気な1年に!

～特定健診・がん検診を受けましょう～



「まだ若いから病気にはならない」「元気だし自覚症状もないから大丈夫」「忙しくて暇がない」と、健診を受けそびれていませんか?

特定健診やフレッシュ健診では、脂質・血糖のほか、腎機能や肝機能など身体の状態を総合的に見ることができます。

がんを早期発見・治療につなげていくためには、胃・肺・大腸がん検診は毎年、子宮・乳がん検診は2年に1回受ける必要があります。

健診を受けていない方はこの機会に受診しましょう。いずれの健診も申し込みが必要です。

巡回ドック

特定健診とがん検診が受けられます。

▼受けられる健診項目:特定健診、胃がん、肺がん、大腸がん、肝炎ウイルス検診

▼受診会場・日程

西当別コミセン:1月23日(火)

ゆとろ:1月24日(水)、25日(木)

▼受付時間 7時30分～10時

バス送迎検診

「北海道対がん協会札幌がん検診センター(札幌市東区)」へバスで送迎し、正午ごろに集合場所へ戻ります。

▼受けられる健診項目:特定健診、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、骨粗しょう症

▼集合場所・日程

西当別コミセン:2月22日(木)

ゆとろ:3月16日(金)

▼集合時間 7時55分～8時10分

フレッシュ健診

フレッシュ健診と胃がん検診が受けられます。

▼受けられる健診項目 フレッシュ健診、胃がん検診

▼受診会場 上記の巡回ドックと同様。

▼受付時間 9時30分～10時

個人検診

個人の都合に合わせて予約し、「北海道対がん協会札幌がん検診センター(札幌市東区)」や「江別市立病院」、「エナレディースクリニック(石狩市花川)」でも検診を受けられます。詳細は、ゆとろ健康推進係までお問合せください。

★ 検査内容・対象年齢・料金

検診(健診)	検査内容	対象年齢	料金	
			当別町国保加入の方	一般の方
胃がん	バリウム検査	35歳～	900円	1,600円
肺がん	胸部レントゲン撮影	40歳～	300円	500円
	必要者に喀たん検査		650円	1,000円
大腸がん	便潜血検査(2日分)	40歳～	500円	800円
子宮頸がん	細胞診	20歳～	1,000円	1,800円
	必要者に体部検診		450円	800円
乳がん	マンモグラフィ(2方向)	40歳～49歳	1,200円	2,200円
	マンモグラフィ(1方向)	50歳～	1,050円	1,900円
特定健診	血液検査、尿検査、身体計測等	40歳～74歳	700円	
フレッシュ健診	血液検査、尿検査、身体計測等	18歳～39歳	1,000円	1,500円
骨粗しょう症	X線による腕の骨密度測定	30歳～59歳女性	300円	500円
肝炎ウイルス	血液検査	検査を受けたことのない40歳以上の方	300円	

※生活保護世帯の方は無料です。

詳細・問合せ

保健福祉課
健康推進係
(ゆとろ内・
☎ 23 - 4044)

高額介護合算療養費のお知らせ

高額介護合算療養費とは、医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。同じ世帯の被保険者が1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が基準額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。なお、役場の担当窓口への申請手続きが必要です。

- ・ 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- ・ 支給額が500円以下の場合には支給されません。

▼問合せ 住民課国保・後期高齢者医療係 (☎ 23 - 2467)

【自己負担限度額表】

計算期間：平成28年8月1日～平成29年7月31日

負担割合	区 分		自己負担額の 合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一般		56万円
	住民税 非課税世帯	区分Ⅱ	31万円
		区分Ⅰ	19万円

※ 該当になるとと思われる方については、
1月下旬に申請案内を送付しますので、
忘れずに提出してください。

年金

読んで得する年金・国保のお話

国保

【20歳になったら国民年金】

国民年金は、国内に居住する20歳から60歳までの人が加入し保険料を納める制度です。国民年金には老後を支える「老齢基礎年金」のほか、病気や事故で障害の状態になったときに支える「障害基礎年金」、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた子のある配偶者や子を支える「遺族基礎年金」があります。保険料の支払いが困難な場合は、「保険料免除制度」や「学生納付特例制度」、「納付猶予制度(50歳未満)」などの制度があります。

【学生納付特例制度と納付猶予制度】

「学生納付特例制度」は、学生本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象は大学・大学院・短大・高校・高等専門学校・専修学校・各種学校(修学年限1年以上である課程)・一部の海外大学の日本校に在学する学生です。「納付猶予制度」は、学生ではない50歳未満の方で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予されます。詳しくは、役場窓口または年金事務所にお問い合わせください。

■年金事務所出張相談所の開設

- ・ 日時 1月23日(火) 10時～15時
 - ・ 場所 商工会館(錦町) ・ 主催 札幌北年金事務所
- ※年金相談は予約制です。代理人が相談する場合は委任状・身分証明書が必要です。
(相談予約専用ダイヤル ☎ 011 - 717 - 4133)

【ジェネリック医薬品の利用について】

医療機関で処方される薬には、新薬(先発医薬品)とジェネリック医薬品(後発医薬品)があります。ジェネリック医薬品は、新薬と同等の効果・効能を持ち、厚生労働省の基準を満たす安全な薬です。薬によって異なりますが、新薬より3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。

ジェネリック医薬品の処方を希望される場合は、まずは、病院・保険薬局等で医師や薬剤師にその旨を伝え、よく相談してください。病院や薬局で手軽に切り替えの意思を伝えることが出来るように「希望シール」を配布していますので、保険証等に貼ってご利用ください。「希望シール」は役場窓口にもご用意しています。

当別町国保では年に2回、ジェネリック医薬品を利用した場合の差額を通知しています。通知対象月の処方実績やジェネリック医薬品への切り換えによる効果の目安となりますので、ぜひ一度ご確認ください。

【病院にかかるときはこんな点に気をつけましょう】

- ①自分自身のからだの状態に関心と責任を持ち、医師との対話を大切にしながら、病気に向き合っていくようにしましょう。
- ②かかりつけの医師を持ち、気になることはまず相談しましょう。
- ③具合が悪いときには、早めに受診しましょう。
- ④同じ病気でいくつもの医療機関を受診することは控えましょう。
- ⑤休日や夜間に救急医療機関を受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。

▼国民年金についての問合せ

住民課戸籍年金係 (☎ 23 - 2463)

▼国保・後期高齢者医療についての問合せ

住民課国保・後期高齢者医療係 (☎ 23 - 2467)